

完了後の評価個表

整理番号 11-1

事業名	(林業地域総合整備事業) 森林居住環境整備事業	都道府県	福岡県
ふりがな 地域(地区)名	そえだ 添田地区	事業実施主体	福岡県、添田町
関係市町村	添田町	管理主体	添田町
事業実施期間	H12 ~ H17 (6年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 添田町は、福岡県の南東部に位置し、英彦山系の山々を境に東は京都郡みやこ町、南は大分県日田市等と接しており、これらの山々を源として、中央部を彦山川、東側に今川、西側に中元寺川が流れ、下流の都市区域（筑豊地域、北九州市）へ良質な水を供給する水源域となっている。町域の多くは中山間地域に属し、県内有数の林業地である。</p> <p>森林の状況 当地区の森林面積は13,210haで、そのうち10,167haが民有林となっている。民有林の人工林率は約86% (8,768ha)であり、県平均の約66%を大きく上回っている。また人工林のうち間伐等の森林整備が必要となる 齢級から 齢級の森林は2,417haで約28%を占めている。</p> <p>また、地区内民有林のうち水源涵養保安林が5,325ha、土砂流出防備保安林が223ha等、全体で5,545ha (55%) が保安林に指定されており、適正な整備による森林の公益的機能の高度発揮が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的・意義 当地区においてはこれまでに8,768haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する国民の期待が高まっていたところである。</p> <p>また、当地区には森林整備を効率的に実施するための根幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、適切な森林整備の遅れが目立っていた。</p> <p>このため、林業生産基盤の整備や森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、施業の必要な森林への到達時間の短縮、労働力や資材の効率的な移動等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図り、森林整備を促進することを目的に林道を整備した。</p> <p>また、町民の森林レクリエーションに対する需要の増加に応えると共に、豊かな森林資源を活用して都市住民との交流を図る観点から、町営施設と一体化した森林公園の整備を実施した。</p> <p>さらに、町内の落合・津野地区では上水道、簡易上水道の整備率が低く、山間地における定住促進のために飲用水等の安定した供給体制整備が急務となっていたことから、用水施設の整備を実施した。</p> <p>(事業概要)</p> <p>森林基幹道整備 ゆみほりだけ 弓張岳線 車道幅員 4.0m 開設延長 1,950m 利用区域面積 614ha</p> <p>森林管理道整備 きっしょうじ 吉祥寺線 車道幅員 3.0m 開設延長 906m 利用区域面積 47ha</p> <p>アクセス林道整備 ふどういけがんじゃく 不動池岩石線 車道幅員 3.0m 開設延長 1,329m 利用区域面積 32ha</p> <p>フォレストアメニティ(森林公園)施設整備 そえだこうえん 添田公園 修景施設(植栽)、休憩施設(四阿)、作業道等</p> <p>用水施設整備 こまなき 駒啼地区 用水施設新設 1基 対象戸数 7戸 きこた 迫田地区 用水施設新設 1基 対象戸数 11戸</p> <p>総事業費 1,061,100千円 (当初総事業費 860,000千円)</p>
----------	--

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、平成13年度に森林基幹道弓張岳線の整備を追加した。</p> <p>総便益 (B) 2,080,264千円 (事業採択時 1,215,101千円) 総費用 (C) 1,921,043千円 (事業採択時 828,928千円) 分析結果 (B / C) 1.08 (事業採択時 1.47)</p>
-----------------------	---

<p>事業効果の発現状況</p>	<p>林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られ、林道着手前5年間の森林整備面積約55.5haに対し、事業完了後5年間は約155.2ha（約3倍）に増加した。 フォレストアメニティ施設の年間利用者数は、添田町の人口の約6倍に相当する73,000人に達している。 用水施設の整備により、降雨等の影響なく良質な生活用水が安定的に供給されるようになり、住民の生活環境が改善した。</p>
<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>当事業により開設された林道は、添田町が定めた林道維持管理規程に基づき管理されており、毎年草刈りや側溝清掃等が行われるなど良好な維持管理状況である。 フォレストアメニティ施設については、町の施設として維持管理費が計上され、適切に管理されている。 用水施設については、町の施設として駒啼地区用水施設利用組合及び迫田地区用水施設組合がそれぞれ定める規約により、適切に維持管理されている。</p>
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>林道整備により、森林施業地までの到達時間の短縮等による林業従事者の労働条件の改善や整備コストの低減が図られ、森林組合による間伐・主伐等の実施面積が整備前と比べ、約3倍に増加するなど、森林所有者の森林施業の実施に対する意欲が向上している。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少などの影響は見受けられない。 また添田公園の整備により、利用者の森林に対する理解が深まるとともに、入込者数の増加による地域の活性化が図られている。 さらに用水施設の整備により、良質な生活用水が安定的に供給されるようになり、住民の生活環境が改善された。</p>
<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>福岡県では平成20年度から森林環境税事業が開始され、荒廃した人工林の整備促進が図られていることから、林道の整備に伴う高性能林業機械の導入や搬出コストの低減などにより、林業生産性の向上、増加する間伐材の利用促進を図っている。 また、木材生産量の増加に伴い、添田町も出資する第3セクターの(株)ウッドイーを核とした木材供給源としての役割が期待される。 フォレストアメニティ施設は、地域のレクリエーション施設や都市住民との交流の場として定着し、地域の活性化に寄与している。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>森林整備に対する森林所有者の意欲が徐々に向上されているものの、木材価格の低迷等により、未だ森林整備が十分とは言えない状況にある。今後さらに路網の整備や施業の集約化、高性能林業機械の導入促進等による林業生産性の向上を図り、安定的な木材生産、森林整備を推進していく必要がある。 また事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 路網整備により、適切な森林整備が実施され水源涵養や山地災害防止等の公益的機能が増進されるとともに木材の安定供給に寄与している。（福岡県） 当事業の実施により森林整備の推進や、住民の生活利便性向上が図られている。今後はさらなる路網整備により間伐やその搬出を促進し、森林組合や(株)ウッドイーを中心とした木材の生産・流通体制の確立を図り、地域の活性化に繋げていく必要がある。また、添田公園の入り込み者数がさらに増えるようPRに努めていく。（添田町） 添田公園が整備されたことで、公園散策が健康増進に役立っている。また都市部の人達との親睦・交流する機会が増えた。（添田町観光連盟）
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林施業や木材生産を効率的に行う基盤となる路網整備、森林公園とそのアクセス道の整備による地域活性化、用水施設整備による生活環境の安定化が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現地の条件に応じた工種・工法が採用されるとともに、事業実施にあたって切・盛土量の抑制等によりコスト縮減が図られたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 林道整備により森林へのアクセスが容易となり、作業効率が向上し、森林整備や木材生産が促進され、今後も一層の効果の発現が見込まれる。また、フォレストコミュニティ施設整備による都市住民との交流促進・地域の活性化、用水施設整備による住民の生活環境の安定化に寄与しており、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林居住環境整備事業

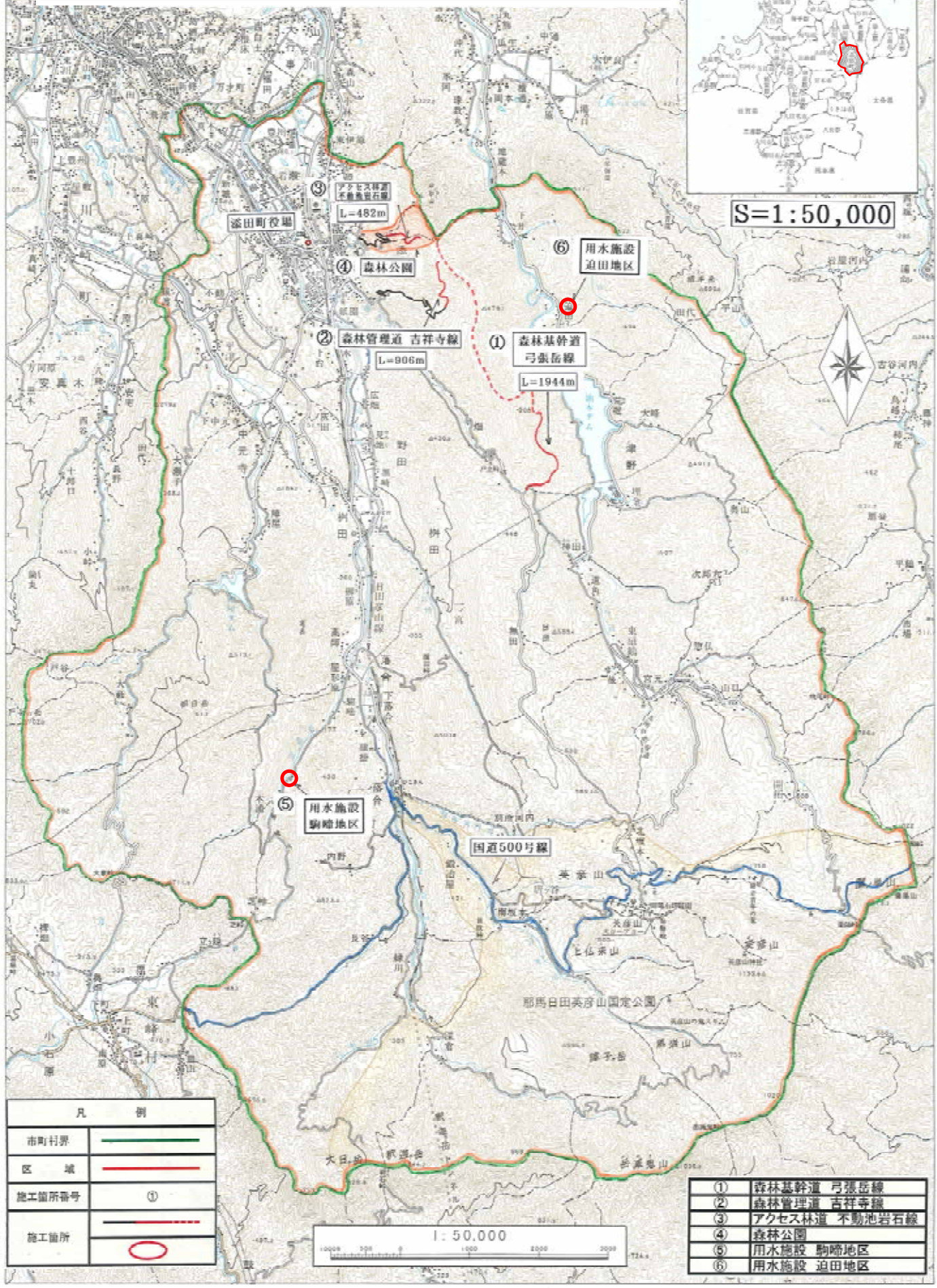
都道府県名: 福岡県

地域(地区)名: 添^ソ田^ダ地区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	18,423	
	木材利用増進便益	47,091	
	木材生産確保・増進便益	367,859	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	96,357	
	森林管理等経費縮減便益	4,090	
	森林整備促進便益	1,196,275	
森林の総合利用便益	ふれあい機会創出便益	89,063	
	フォレストアメニティ施設利用便益	81,426	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	125,675	
維持管理経費縮減便益		24,556	
山村環境整備便益	生活用水確保便益	29,449	
総 便 益 (B)		2,080,264	
総 費 用 (C)		1,921,043	
費用便益比	$B \div C = \frac{2,080,264}{1,921,043} = 1.08$		

森林居住環境整備事業 添田地区(福岡県)概要図



S=1:50,000

凡 例	
市町村界	———
区 域	———
施工箇所番号	①
施工箇所	———
	○

- ① 森林基幹道 弓張岳線
- ② 森林管理道 吉祥寺線
- ③ アクセス林道 不動池岩石線
- ④ 森林公園
- ⑤ 用水施設 駒崎地区
- ⑥ 用水施設 迫田地区



NR40-1116(1)0101
2005年現在状況を示す

この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平17九第 第10号)